

小竹図書館 図書館利用者懇談会

1. 日時 令和2年度10月31日(土)10時30分～12時
2. 場所 小竹図書館 2階 会議室
3. 出席者 利用者 11名
図書館 4名
(小竹図書館長、副館長、業務責任者、テルウェル東日本マネージャー)
4. テーマ 「コロナ禍での公共図書館のあり方と、開館30周年を迎えた小竹図書館に望むこと」
5. 配布資料 (1) 次第
(2) 図書館利用案内
(3) 令和2年版練馬区教育要覧(図書館部分抜粋)
(4) 練馬区立図書館報「図書館だより」
(5) 小竹図書館広報紙 すてんどぐらす(10月号、11月号)
(6) 催し物(11月～開催予定)のご案内
(7) アンケート用紙
6. 次第 (1) 小竹図書館長およびハートフルサポート共同事業体運営担当者の挨拶
(2) 図書館員紹介
(3) 参加者自己紹介
(4) 小竹図書館について
(5) 懇談
 - ・コロナ禍の公共図書館のあり方とは？
 - ・開館30周年を迎えた小竹図書館に望まれること

小竹図書館利用者懇談会 会議録

1 小竹図書館長およびハートフルサポート共同事業体運営担当者の挨拶

本日はお忙しい中、小竹図書館の利用者懇談会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。小竹図書館は平成26年度に指定管理者制度が導入され、私どもハートフルサポート共同事業体に図書館運営と施設管理を任せていただいております。ハートフルサポート共同事業体とは、NTTグループのテルウェル東日本と練馬区に本社をおく五十嵐商会からなる団体で、図書館運営はテルウェル東日本、施設管理は五十嵐商会が担当しています。(館長・運営担当者の挨拶部分割愛)

2 図書館職員紹介

館長、副館長、業務責任者、テルウェル東日本マネージャー(挨拶割愛)

3 参加者自己紹介（自己紹介部分割愛）

4 小竹図書館について

さて、懇談に先立ちまして、本日のテーマに「コロナ禍の公共図書館のあり方」をあげておりますので、まず小竹図書館の今年度の流れをご報告したいと思います。

コロナウイルス感染症については1月頃から新聞やニュース番組などで知れ渡っていましたが、4月に政府による感染症拡大のための緊急事態宣言があり、4月13日（月）に総務省から地方公共団体に可能な範囲で職員の出勤抑制の要請があり、練馬区立図書館は当初4月11日（土）から5月6日（水）の期間、臨時休館することになりました。ところが、予想以上に感染者が増えたことから、臨時休館は5月27日（水）まで延長することに。5月28日（木）から区立図書館はようやく再開しましたが、書架には入れず、カウンターでの返却と予約本の受け取りだけ、またみなさん本当に外出していいのかという思いがあったらしく、再開当初の入館者は通常の20～30%ぐらいでした。予約などのサービスが再開したのは6月2日（火）で、書架には入れるようになりましたが、閲覧席の利用はできず、館内の滞在期間も30分以内をお願いしていました。7月からようやく通常のサービスを再開、イベントなども実施できるようになりましたが、人数制限をすることになりました。図書館はさまざまな方が来られるので、いつ何が起こるかわかりませんし、その責任も含めて、常に危機管理とサービスを考えていました。

先ほど自己紹介のとき、図書館が休みで寂しかったと言われた方もいらっしゃいましたが、皆さまがどのように感じておられたのか、率直なご意見を伺えますでしょうか。そのうえで、公共図書館の役割を一緒に考えていきたいと思います。

5 懇談

図書館 先日、久しぶりに会った方に、「今も図書館は休みなの？」と聞かれて、再開していることをお伝えしたところ、とても喜んでおられました。1度行ってみて休みだったことからコロナがまだ収束していない状況だから、その後もずっと休館していると思われていたようです。皆さまにはご不便をおかけしたことと思いますが、そのあたりいかがでしょうか？

利用者 うちの施設を利用される高齢者についてお話ししますと、4、5月は自粛モードで、高齢の方々が出かけていた場所はほとんど閉まっていたり、ご家族から外出を止められたりするケースがあったようです。夏以降でも、人数制限で参加できない方もいて、心の元気がなくなっているように感じました。その中でも、図書館は自分の楽しみを探しに行く場所として利用しているという声を聞きました。自粛期間中は社会との接触が減っていたので、社会との繋がりを取り戻せる場所のひとつが図書館だったのでしょう。

利用者 保育園では、通常は80名ほどお子さまを預かれるところ、4、5月は本当に保育を必要とする方10名だけお預かりする態勢にして対応しました。公共施設の図書館は多世代の方を受け入れるので、出かけるところがない人にとっても、安心な

場所になっていると思います。私たちが子どもが手に取る本などの消毒作業が増えましたので、行事で使う本や紙芝居を図書館から借りることができて助かっています。個人的には家族がブックスタートでお世話になったので、子育て世代にとっても図書館が開いていることが安心につながっています。

利用者 私は練馬区と中野区の区境近くに住んでいるのですが、練馬区は、中野区に比べてギリギリまで様子を見ながら開館してくれていました。一方で、会議室などの再開が早すぎるのではと感じた住民の声も聞いています。でも、図書館を頼りにしている団体としては助かりました。立場が異なれば、感じ方も違うと思いますが、文庫連としてはありがたかったということをお場を借りて申し上げておきたいと思います。

図書館 コロナが1月から騒がれ、私たちは白地図に休館した自治体を塗りつぶして様子を見ていました。都内で残り4つくらいになったところで、練馬区も臨時休館することになりました。それに関してもさまざまなお意見をいただきました。「こんな非常事態に何で閉めないのか」「こんな時だからこそ、本を読みたい」というような異なるご意見をカウンターや電話でいただきました。自分たち自身もいつどうなるかわからず、どうしたらいいのかわかりませんでした。現在は2時間を目安に利用していただくように館内放送で案内しています。また、貸出しして戻ってきた本は、1日寝かせてから書架に戻すようにしています。手指の消毒やイベント時には検温のご協力をお願いしたりしています。たまに、マスクをしたくないという人もいて、注意の声掛けも行っています。

利用者 私たちの団体では、8月に小竹図書館で寄席のイベントを開催する予定でしたが、延期になりました。これまでこの地域のデイサービスなどでも落語を開催していましたが、すべて中止になりました。披露する場を探すのに苦労しています。

図書館 小竹図書館で開催していただけたということだったのですが、コロナウイルスの心配があり、この時期に大笑いするイベントはどうかという意見もあり、話し合いのうえ延期することになりました。学生の方々の生活はどうでしたか？

利用者 4月に新しい学年が始まる予定でしたが、5月に延期になりました。5月からはオンライン授業を自宅で受けていました。9月から後期が始まると、やっと大学に通ってもいいと許可が出ました。基本的に受講者が多い授業はオンライン、少人数で受ける授業は登校して受けることができるようになりました。

利用者 4、5月は大学に行ってはいけないという状況だったので、家から出る機会も減り、図書館が休館していることさえ知りませんでした。

図書館 地方から出てきたばかりの1年生は気の毒ですね。

利用者 そうですね。でも、今はSNSがあるので友だちはできると思います。ただ人見知りの人もいると思うので、人にもよるのでしょうか。

利用者 大学の図書館ではネット予約をすれば郵送で貸出ししてくれるサービスがありました。でも、ホームページでお知らせしているだけなので、そのサービスがあること自体を知らない学生も多かったと思います。

- 図書館** 返す時も郵送ですか？
- 利用者** そうです。大学では、先に図書館だけ利用できるようになりました。前日に予約をしておけば、図書館を利用できるシステムです。
- 図書館** ボランティアさんの活動には、どんな影響がありましたか？
- 利用者** 4、5月は活動をお休みしました。6月から再開したため、宿題が増えましたが、布の絵本を1冊完成させることができました。私自身は、インターネットで予約すれば本を借りられたので、それほど不便はありませんでした。ただ、手にとって確認できるわけではないので、どんな内容かわからないという不便はありました。
- 図書館** 予約した本は貸出しできたため、パソコン検索できる方にとっては、それほど不自由はなかったかもしれませんね。でも、利用者の中には「本の背表紙を見るのが好き」という方もいて、見ているだけでも楽しいし、そこで借りる本を決める方もいるようです。児童館さんはどうでしょうか？
- 利用者** 私たちには決める権限はないので、決められた中でどこまで何ができるかを考えました。自己紹介の時に、世の中は電子化の方向に進んでいるというお話がありましたが、まさにそこなのかなと思っています。練馬区のホームページを見ると、区立の保育園はユーチューブで保育園の様子などをアップしていて、児童館でもそういったことが必要なのではないかという話も出ました。児童館ではツイッターで「遊びの提供」に取り組んでいます。ただ、インターネットで遊びの画像などはいっぱい出回っているため、そこにあえて児童館が参入する意味はあるのか、それに割く労力をもっと別のことに注いだ方が良いのではないかという意見もあり、悩ましいですね。
- 図書館は11月に人形劇のイベントを開催すると知って、勇気があると思いました。もちろん、コロナウイルスの予防措置を取られて開催されるのだと思います。児童館でも少しずつイベントを再開していますが、まだ外部には大々的に宣伝していません。今までは各学校におたよりを配っていたのですが、現在は配布をストップしています。イベントの宣伝は、館内掲示やホームページのみにして、人が集まりすぎてお断りすることがないように、あまり密にならないように気を付けています。でも、元の状態に戻していくには、こちらも動いていかないといけないのではと考えているところです。
- 図書館** 人形劇のイベントは、夏に予定していたものが、秋に延期になりました。人形劇は子どもたちにとっても人気があって、すぐに満員になります。人形劇のスタッフの方とも相談してようやく開催することに決まりました。
- ところで、児童館が閉まっていた時、子どもたちはどうしていたのでしょうか？
- 利用者** 仕事がお休みになった保護者が多かったようで、子どもも家にいたようです。外で遊んでいて知らない人に注意されたという話も聞いています。町に子どもの姿を見かけること自体が少なかったです。
- 図書館** 先ほど電子化の話が出まして、私も勉強している最中で、地域資料をアーカイブ化にして提供するなど、どのような方法が良いかを考えています。小竹図書館が単

独でできることではないのですが……。

今回の新型コロナウイルス感染症に関しては初めてのことなので、先行きが未だよくわかりません。ただ、休館中は、全国の図書館ではどんな取り組みをしているのか気になり、新聞やネットで情報を集めていました。書架をカメラで映して皆さんに提供している図書館、よみきかせを動画で提供しているところなどいろいろありました。書架の映像にしても著作権の問題がありますし、よみきかせにしても作家に許諾を得ないといけないため、実際にやるにはハードルが高いです。休館中、図書館には多くの方から館内の資料を見せてほしいという声をいただきました。あと残念だったのは、新刊が毎週入ってくるのですが、それを新刊コーナーで披露できなかったことです。

図書館 どんな本が入ってきたかということはホームページの新着情報でわかるのですが、なかなか書名だけだとイメージがわからないし、実際に中身を見て吟味することもできないので、ご不便をおかけしたと思います。私も一図書館利用者として、不自由だと感じました。

私は図書館で働いているので、週末の勤務が多くてなかなか他館のイベントには参加できないのですが、イベントの取り組み状況も区によってさまざまでした。新宿区の図書館は厳しくて、1時間開館して、30分閉めて消毒と換気をしていました。私は新宿区に近いので、行くと閉まっているということがたびたびありました。ここ1、2週間でやっと緩和されて、閉まっている時間が日に2回に減りましたが、区によって対応が異なるので、実際に行ってみないとわからないこともありました。

利用者 区によってさまざまとのことで、練馬区はブックスタートの再開が早かったことに私は少し驚きました。赤ちゃんと保護者が対象のイベントなので、保護者がピリピリするのかなと思いました。

図書館 お母さんの中には、書架に入れなかったら何でもいいから絵本を10冊貸してほしいという方もいました。ブックスタートに参加される方は前よりも増えました。何故だろうと思ったのですが、ブックスタートのボランティアさんから聞いた話では、育休中の母親などは赤ちゃんとも2人でずっと家にいるとブルーになってしまうので外に出たいと思う方が多く、図書館のイベントだったら誰にも気兼ねなく参加できると考えられたようです。同じ年頃の子どもの持つお母さんは他のお母さんと情報交換したいようで、特に初めての子育てだとなおさらのようでした。

さて今年、小竹図書館は30周年を迎えました。私は2、3年前から著名な方にお声掛けをして、講演会を企画していたのですが、今のところそういった特別なイベントは延期しています。こちらから延期をお願いしたのではなく、大半は先方から今は難しいのではと延期の申し入れがありました。せっかく遠くから来ていただくなら、会場となる小竹図書館の会議室の収容人数はマックス30人なので、30人の利用者に恩恵を受けていただきたいという気持ちがあります。今開催しても

15人ほどしか参加できないので、先方にも利用者の方にも申し訳ないと思うのです。30周年にこだわらないで、例えば、30周年プラス1年でもいいのかなと、考えているところです。

小竹図書館は30周年になりましたが、これからこんなことをしてほしいといったご要望がありましたらぜひ、お聞かせください。先ほど、電子化のお話も出しましたが、大半の公共図書館はまだ電子図書館ではなくて機械化図書館の時代です。所蔵しているのはだいたいの紙の本です。完全に電子化するとしたら、ここにある紙の図書をどうするのかなど、さまざまな課題があり、まだ完全に電子化になっている図書館は少ないと思います。コロナ禍で作家の東野圭吾さんが7作品限定で電子化の許可を出したということが新聞記事に出るくらいなので、まだまだ電子化を許諾する作家も少ないようです。そういったことも踏まえると、電子化図書館になるまで時間がかかると思います。

図書館 電子化だと延滞や督促業務がなくなるのでそういった面では助かります。千代田区で一部電子化をやっている図書館があります。例えば、「3人貸出可」となっていたらオンラインで予約を申し込むと同時に3人まで閲覧できるようなシステムです。2週間経つと読めなくなります。常時3人までなので、予約を入れて利用することになります。この話も10年くらい前の話で、そこからどんどん進化しているのかと言ったらそうでもないです。紙の本は古くなってくると除籍してリサイクルに回すなどしますが、最後の1冊は保存して読めるようにしています。なお、紙の本だと基本的にはなくなりませんが、電子図書だとおそらく契約年数という問題も発生するのかもしれませんが、具体的にはわかりませんが、例えば10年の契約年数だと、10年経つとその本が跡形もなく消えてしまうこともあるのではないかと思います。

利用者 小竹図書館ができる前は、本を積んだキャラバンが来ていました。いろんな場所を回って、私たちは本を借りるのを楽しみにしていました。そういった時代のことを講座で扱ってほしいです。

図書館 江古田の駅前でひまわり文庫が活動をされていたというお話を聞いています。そういった読書活動を振り返る講座もいいですね。ぜひ、前向きに検討したいです。

利用者 ねりま文庫連は今年50周年を迎えまして、記念誌があり、そちらにも年表があって詳しく書かれています。江古田ひまわり文庫の阿部雪枝さんが始めるよりも前から文庫の歴史があり、練馬区は子ども向けの作家や絵描きが多い地域で文庫活動が盛んです。記念誌にはブックリストなども載っていて、その時代にどんな本が出版されたかを知ることができますので、よかったらご覧ください。

図書館 ご存じない方もいらっしゃると思いますので、文庫連についてひと言ご説明します。文庫連は地域の方が任意で集まった子どもへの本のよみきかせ活動などを行っている団体の集合体で、練馬区には多くの子どもの読書活動を支援する団体があります。

利用者 ひまわり文庫の時代は練馬区の中で50カ所の家作文庫がありました。家作文庫

というのは、お家の一室を開放して小さな家庭図書館にしたもの。時代がくだってなかなかそういうことが難しくなってくると、保健所や保育園などで地域の方に本を貸し出すことをしていました。その蓄積があったので、練馬区は学校の図書館開放ができたのだと思います。その名残りで、図書館開放は、学校の名前のうしろに地域の文庫名をつけたりしています。

図書館 学校によっては図書室を開放したり、図書室とは別の部屋に開放図書の予算で購入した本を置いて地域の方に貸出しサービスをしたりしているところもあるのですよね。

利用者 図書室を開放する時間にボランティアが入って活動しています。地域の方にも開放していたのですが、現在はコロナウイルスの影響で、その学校に通う子どもに限定して開放しています。

図書館 練馬区は文庫が多い区で、その活動も早くからやっていたそうです。私が子どもの頃は、本の多い友達のお家に行って読ませてもらっていましたが、そういった感じで一般家庭の一室を開放していたようです。

利用者 この地域はひまわり文庫が活動していたこともあり、実は小竹図書館の設立にひまわり文庫も一役かっていたそうですよ。

図書館 小竹図書館ができるまでは、この地域の方は電車に乗って練馬図書館まで行かないといけなかったとか。そこで地域に図書館の設立をと、区に要望を出したという話を聞いています。

利用者 個人的なお願いなのですが、私はこの地域のことを調べています。ぜひ、江古田地域の写真や古い地図、あるいはお祭りの記録など、そういうものを個人では集められないので、図書館のように公的な機関が募集したり、あるいは一時的に置いてもらえたりできたらありがたいです。また、そういったものを集めて保存していかないと、いつの間にか失われてしまうと思うのです。

図書館 この地域の今のような住宅地図ができたのは1960年くらいからです。古い地図を探しに来られる方の中には、昔、母が通っていた美容院について知りたいという方や、この辺で家を購入したいが、池や沼の跡地でない所がいいのでそういったことが載っている江戸時代くらいの地図を見たいという方などが相談に来られたことがあります。地域の古い地図は小竹町会の方が持っているらしいので、ご協力いただければと考えているところです。

利用者 当保育園では、子どもたちと地域のことを調べていて、その折に小竹町会や小竹小学校で古い写真などを見せてもらいました。また、小竹図書館の書架も見せてもらいました。地域の歴史は、子どもたちに知っておいてもらいたいと思うのです。小竹町に住んでいる方と関わることで、自分が住んでいる町を知ることになるのだと考えています。町の地図に、子どもたちがいろんなコメントを付けてくれます。「ここは行ったことがある」、「ここは小鳥の小屋がある」など、大人たちが気づかないようなことも、彼らなりの目線で知っているわけです。子どもたちのコメント入り地図を展示などしていただけたらとてもうれしいです。また、今後の話

ですが、江古田地域で練馬区協働推進課と一緒に取り組み始めている事業がありまして、それは子育て応援の町にしていこうというプロジェクトです。「子育てを応援しています」というステッカーを作ってお店や施設に貼ってもらい、孤独な子育てに陥っている親御さんや逆に子育てに関わりたいシニアの方にわかるようにしてもらいます。ホームページでも施設の紹介などができればと思っています。その際は小竹図書館にもご協力いただければと思います。

図書館 町の良さの話でいうと、今度、開進第三小学校の子どもたちが町の良さを聞きたいと、小竹図書館に来ます。館長からこの町の良さを語ってほしいという依頼を受けたのです。子どもたちは、図書館だけではなく、この地域のいろんな施設へ行ってインタビューするそうです。小竹や江古田地域に住む皆さんは町に思い入れがあり、町を愛している方が多いと感じています。長く住んでいらっしゃる方も多く、学生も多く、新しく来る方にも優しい町だと思います。

利用者 先ほど、電子化の話が出ていたのですが、そういったことを含めていうと、図書館は利用者に必要な情報を提供する役割があって、それは本だけではなく、大きな括りでの情報ととらえていいと思います。今はインターネットから情報を得る人たちが多くなっているので、そういったアクセスができる拠点としても図書館があると思います。インターネット環境が自宅にある人やスマホを持っている方はいいのですが、そういった環境を持ってない人たちもいるかと思います。ネットにアクセスできる環境が図書館にもあればいいですね。図書館にも多少はパソコンを置いているかと思いますが、もう少し整備されると良いと思います。

図書館 小竹図書館にはインターネットパソコンが3台あって、希望される方に貸出ししています。今はコロナの影響で1台間引いているため、2台が使える状態です。利用は結構あって、1日に数十人の方が使われています。

利用者 ええっ、そんなに。そのパソコンの使い方を指導することもあるのですか？

図書館 ほとんどありません。ご家庭にある一般のパソコンと同じ操作で使用できますので。ただ、区立のパソコンなのでフィルターがかかっており、メールやいかがわしいページの閲覧などはできないように制限されています。「情報を提供するという図書館の役割については、私もその通りだと思います。地域の高齢化も進んでおり、区役所まで行けない方もいますし、自分一人なのでもう新聞を取っていないという方もいらっしゃるようで毎日来館される方も少なくありません。図書館では区の情報も手に入るようにしています。1階のオレンジコーナーでは、高齢者向けの本の展示と、区が作成している高齢者向けの生活ガイドなどを自由にお持ち帰りいただけるようにしています。高齢者向けの本は暮らしの棚だったり、保険の棚だったりといろんな所に分かれていて不便だったので、1カ所で情報が得られるように展示コーナーを設置したのです。

30周年記念誌については今後考えていきたいと思っています。少し前に西武鉄道が練馬区の写真を集めてポスターを作って駅構内に掲示していたのをいいなあと思って眺めた記憶があります。皆さんのお家に眠っている昔の江古田や小竹の写真

をお借りしてアーカイブ化できればいいですね。最近は、亡くなった家族の写真をゴミの日に出される人もいて、もったいないと感ずることがあります。個人の写真の中に、その時代の生活が映し出されていることがあるので、貴重な写真を何らかの形で残していけたらと思います。

利用者 個人的な質問なのですが、紙媒体の本を貸出しするのは、コロナの時代にどうなのか気になっています。ギャラリーをやっている私の所には、フランスなどの海外から送られてくる作品があり、どう消毒したらよいかと悩んでいます。図書館では紙媒体の本をどのように消毒したりコロナ対策したりしているのでしょうか？

図書館 図書館では、本の中まではできませんが、表紙などの外側に消毒スプレーをつけて拭いています。貸出しするカウンターなども、1時間おきに消毒しています。

利用者 時間が経つと菌が無くなるそうなので、保育園では絵本を入れ替えています。

図書館 図書館でもその日に返却された本は1日寝かせています。

利用者 材質によって菌の効力が無くなる時間が違うようですよ。

利用者 フランスも感染者が多いので心配です。

図書館 フランスは1日5万人の感染者が出ているそうですから、心配ですよ。

利用者 先ほど、講演会を開催しても参加者が15人だともったいないというお話がありました。オンラインで開催するのはどうでしょうか？

図書館 今のところ設備が整っていないこともあり、すぐには難しい状態です。

利用者 過去にオンラインによるよみきかせをやったことがあるので、お手伝いできることがあれば声を掛けてください。その時は、練馬区にある出版社のリーブルさんからもアドバイスをいただいて開催しました。

利用者 私たち学生はオンラインよみきかせは、著作権の問題があると聞いたため、自分たちで自作した絵本だけを使用しました。

図書館 定員の話ですが、現在はようやく解除されました。しかしながら、ソーシャルディスタンスを守り、コロナ対策をした上で開催しなければならないので定員枠いっぱいでの開催は依然として難しいのです。

さて、お話は尽きないので名残り惜しいのですが、閉会時間になりましたので、このあたりで利用者懇談会をいったん終了したいと思います。本日はお忙しいなか、小竹図書館にお越しいただき、貴重なご意見をお聞かせいただきましてありがとうございました。皆さまからいただいたご意見をもとに、今後の図書館運営に活かしていきたいと考えています。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。